

## 佐倉街道

Sakura-Kaidō  
国道51号  
(主)佐倉印西線



国立歴史民俗博物館

### 起点及び終点

千葉市中央2丁目広小路交差点から  
佐倉市海隣寺町海隣寺交差点まで

19.0km

江戸時代は、成田街道の別称を佐倉道とも称したが、現在では、国道51号の千葉・佐倉区間が佐倉街道として定着して親しまれている。

## 房総フラワーライン

Bōsō-Flower Line

(一)南安房公園線 (主)館山白浜線  
(町)館山御宿線1号、2号 (町)名倉乙浜線  
(町)白間津海岸線 (町)海岸線  
(一)千倉港線 (主)白浜南三原線



花畑から見る海岸線

### 起点及び終点

館山市館山下町交差点から  
安房郡和田町下三原国道128号  
交差点まで

46.3km

千葉県の有料道路の魁として昭和41年3月に完成したフラワーラインを中心とする道路は、温暖な気候に恵まれ真冬、菜の花等が咲き市民マラソンが催される、名実ともにその名称は定着しており建設省主催の全国道路百選の一つに昭和61年に選定された。

## 房総スカイライン

Bōsō-Sky Line

(主)君津丸山線  
(主)君津清和線  
(主)南房総公園線  
(房総スカイライン有料道路、鴨川有料道路)

### 起点及び終点

君津市内箕輪国道127号交差点から  
鴨川市横渚国道128号交差点まで 35.7km

## 久留里街道

Kururi-Kaidō  
(主)千葉鴨川線  
(主)市原茂原線  
国道410号



鹿野山から富士を望む

### 起点及び終点

市原市柿ヶ崎国道16号交差点から  
君津市笹房総スカイライン  
有料道路交差点まで 39.0km

東京湾岸の日本屈指の工業地帯市原、君津両市から県南内陸山間地部の県内有数の景勝の地を經由し、観光・リゾート地鴨川地域外房黒潮ラインと結ぶ、観光・リゾート路線であり、古くは木更津港からの鹿野山信仰道でもあった。将来にかけても余暇時間の増大のなかで、この道路が果たす役割は一層強まるものと考えられる。

## 清澄養老ライン

Kiyosumi-Yōrō Line  
(主)市原天津小湊線

### 起点及び終点

市原市牛久国道409号交差点から  
天津小湊町天津国道128号交差点まで  
37.8km



上櫃川上流

東京湾岸、京葉コンビナートの中心地市原市から、県立養老溪谷奥清澄自然公園を經由し、日蓮誕生の門前町として江戸時代から発展してきた臨海リゾート地、天津小湊町を結ぶ古くから観光・リゾート信仰の道である。今や都市化、工業地帯化した東京湾岸と、黒潮いぶく外房を結ぶ人・物流の最短幹線道路の一つに位置づけられている。

## 房総横断道路

Bōsō-Ōdan dōro  
国道409号  
国道128号

### 起点及び終点

木更津市長須賀国道16号交差点から  
一宮町鳴山(主)飯岡一宮線分岐点まで  
45.9km



東京湾横断道路完成予想図

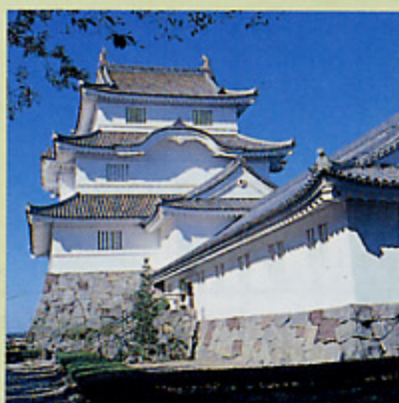
江戸時代から外房の物資集散地茂原から、江戸湾内木更津港までの半島横断道として機能していた。今日では東関東自動車道・館山線と接続し、近い将来には、東京湾横断道路と交差し、「千葉県三角構想」具体化の一端を大きく担う県中央部における重要幹線道路であり、半島横断の人物流に果たす役割に大きな期待が寄せられている。

## 大多喜街道

Ōtaki-Kaidō  
国道297号

### 起点及び終点

市原市八幡町国道16号交差点から  
勝浦市墨名町国道128号交差点まで  
50.0km



大多喜城

県都千葉市と外房を連絡する幹線道路で江戸時代には本多忠勝の大多喜城、ならびに勝浦、舞鶴城の存在から参勤交替の重要な道でもあった。現在では、産業流通の動脈だけではなく、沿線にはゴルフ場が多く開発されており、レジャードライバーの利用道として機能が高い道路の一つに位置づけられている。

## 利根水郷ライン

Tone-Suigō Line  
国道356号  
(一)我孫子利根川線

### 起点及び終点

銚子市三軒町国道126号交差点から  
我孫子市国道6号線合流点まで  
94.9km



利根川

千葉県の最東、最西部を利根川に沿って結ぶ県域外周部を形成する主要幹線道路であり全国有数の銚子漁港、そして、県北部地域穀倉地帯の物流動脈を担うとともに沿線は雄大な利根川の流れを眺望する大水郷地帯としての観光・リゾート道路の役割をも担っている。